

海ごみについて「カッパの清吉」と楽しく学べる 動画とカードゲームを作成しました！

愛知県の海岸には内陸部でポイ捨てされたり、風で飛ばされたりした家庭からのごみが川などを經由して海岸に漂着しており、景観を損ねるだけでなく、海の生きものや、観光業及び漁業に影響を与えています。

このため、本県では海ごみを減らすため、小学校の授業で使える環境学習プログラム「カッパの清吉と海ごみのルーツを探ろう！」(小学校中学年以上対象)を作成しました。

この環境学習プログラムは、子どもが親しみやすいよう「カッパの清吉」や「ごみ妖怪」などのかわいいキャラクターを用いて、動画やカードゲームを通して楽しく学ぶことができるようになっています。また、所要時間も授業時間に合わせて45分程度とし、指導者用マニュアルも作成しました。

是非、小学校の授業を始め、様々な環境学習の機会に御活用ください。

1 プログラムの特徴

- 主人公の「カッパの清吉」のほか、様々な「ごみ妖怪」が登場し、子どもが親しみやすいようになっています。なお、カッパの清吉は海と川のつながりを象徴する生きものとして採用しました。
- 小学校の授業で活用しやすいよう、導入（動画）、体験（カードゲーム）、振り返り（ワークシート）から構成されています。
- 小学校の授業時間に合わせて、所要時間を45分程度にしています。
- 指導者がプログラムを進めやすいよう、プログラムの流れ、指導のポイント、補足資料等が記載された指導者用マニュアルを作成しました。



カッパの清吉

2 プログラムの内容

(1) 導入（動画）

海ごみ問題の概要を5分程度の物語で紹介します。川に住む主人公のカッパの清吉が海に行き、ポイ捨てされたごみが妖怪となって自然界に悪さをしていることを知り、妖怪たちをポイ捨てされる前の場所に返していく物語です。（絵本版もあります）



(2) 体験 (カードゲーム)

海の恵みや海ごみなどが描かれたカードを使って絵合わせゲームをし、愛知の海の恵みや、海ごみがどこから流れてきたのかを、楽しみながら学びます。

<使用するカードの例 (ペア) >



※ 全部で 15 種類 30 枚あります。裏にはヒント、表には一口メモが記載されています。

(3) 振り返り (ワークシート)

動画やカードゲームで分かったことや、問題解決のために自分たちにできることを「カッパの清吉への手紙」に書いて発表することで学びを共有し、行動へとつなげます。


※ このプログラムは、本日から愛知県海岸漂着物環境学習サイト「あいちのうみのコト」において自由にダウンロードすることができます。なお、来年の3月から動画(DVD)、カードゲーム等の教材の貸出もします。詳しくはWEBサイトを御覧ください。

あいちのうみのコト <http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>

<イベントでの活用>



				
<p>自然から出るごみ</p>	<p>自然から出るごみ</p>	<p>自然から出るごみ</p>	<p>自然から出るごみ</p>	<p>自然から出るごみ</p>
<p>流木</p>	<p>発泡スチロール</p>	<p>苗ポット、肥料のふくろ</p>	<p>海そう <small>(海岸に打ち上げられたもの)</small></p>	<p>漁もつ</p>
 <p>形の良いものを見つけたらおうちにかざろう!</p>	 <p>野菜や魚などを運ぶときによく使われる。水や熱を逃しにくい。</p>	 <p>農業で出るごみ。苗ポットは苗を育てて育てるもの。</p>	 <p>海岸に流れ着いてくさってしまっただものはとてもくさい。</p>	 <p>漁師さんが魚を取るときに使う道具。</p>

				
<p>山や川から流れつく</p>	<p>よごれた海にたくさん発生する</p>	<p>農業でつかうもの</p>	<p>けずられると小さなかけらがたくさん出る</p>	<p>からまると大変</p>
<p>流木</p>	<p>海そう (海岸に打ち上げられたもの)</p>	<p>苗ポット、肥料のふくろ</p>	<p>発泡スチロール</p>	<p>漁もう</p>
 <p>山や河原の折れたえだや枯れた木が大雨で流されたもの。</p>	 <p>時間はかかるが、自然にかえる。かたづけられる場合は、水分や塩分をふくむため大変。</p>	 <p>苗ポットは、くりかえし使うことができるものもある。</p>	 <p>小さなかけらになると、拾えなくなる。魚や鳥などがまちがえて食べてしまうことがある。</p>	 <p>切れたりして流されると、生きものや船のスクリューなどにからまる。生きものは動けなくなることもある。</p>

					<p>くらしから出るごみ</p>	<p>くらしから出るごみ</p>	<p>くらしから出るごみ</p>	<p>くらしから出るごみ</p>	<p>くらしから出るごみ</p>
<p>プラスチック製品</p> <p>プラマークがついたものは、ごみぶくろ、プランターなどにリサイクルできる。</p>					<p>ペットボトル</p> <p>出かけるときは、水とうやマイボトルを持ち歩こう!</p>	<p>缶</p> <p>リサイクルされて、新しい缶や自動車部品などに生まれ変わる。</p>	<p>びん</p> <p>回収された空きびんはあらって再利用したり、とがして新しいびんに生まれかわる。</p>	<p>レジぶくろ</p> <p>安いものをするときは、マイバッグを用意して、よぶんなレジぶくろはことわろう!</p>	

 <p>太陽の光や波で細かくわれる</p>	 <p>リサイクルで いろんなものに生まれかわる</p>	 <p>破けたものの中に残っていることもある</p>	 <p>われるとあぶない</p>	 <p>風に飛ばされやすい</p>
<p>プラスチック製品</p>  <p>細かくなったものを、鳥や魚がまちがえて食べてしまうことがある。</p>	<p>ペットボトル</p>  <p>たまごのパック、シャツのほか、新しいペットボトルにもリサイクルされる。</p>	<p>缶</p>  <p>スプレーやガスの缶はともさけん。みつけてもこどもだけでさわらないようにしましょう。</p>	<p>びん</p>  <p>われただびんだけでがをしてしまうかも。捨るときは気をつけよう。</p>	<p>レジぶくろ</p>  <p>ウミガメが、クラゲとまちがえて食べてしまうことがある。</p>

<p>海の生きもの</p>	<p>海の生きもの</p>	<p>海のめぐみ</p>	<p>海のめぐみ</p>	<p>海のめぐみ</p>
<p>アカウミガメ</p>	<p>スナメリ</p>	<p>クルマエビ</p>	<p>ガザミ</p>	<p>アサリ</p>
<p>海にすむ大きなカメ。レジンぷくろをフラゲとまちがえて食べてしまうことがある。</p>	<p>イルカのなかま。海のごみをまちがえて食べてしまうことがある。</p>	<p>しまもようがあり、まるまると半輪のように見えるので「くるまえび」とよばれている。</p>	<p>「ワタリガニ」とよばれるおいしいカニ。川の水が流れこむところが好き。</p>	<p>みそ汁、スバゲッティーなど、いろいろな料理に使われている。</p>

	<p>全国で1番多くとれるのは愛知県</p>		<p>全国で1番多くとれるのは愛知県</p>		<p>全国で2番目に多くとれるのは愛知県</p>		<p>伊勢湾や三河湾で負られる</p>		<p>たまごを産むため海岸にやってくる</p>
<p>アサリ</p>		<p>ガザミ</p>		<p>クルマエビ</p>		<p>スナメリ</p>		<p>アカウミガメ</p>	
<p>潮干狩りに行ってたくさんとろう!</p>	<p>秋に最もたくさんとれる。カニみそやたまごもおいしい!</p>	<p>お刺身にして食べるとおいしい!</p>	<p>愛知の海にもやってくる、砂浜に穴をほってたまごを産む。</p>						



せいきち てがみ
清吉への手紙

きょう 今日 はじめて 知ったこと、おどろいたこと、おも 思ったことを 書こう。

つぎ 次に、うみ 海ごみをへらすためのアイデアと、

じぶん 自分がこれからやってみようとおも 思うことを書いて、せいきち おし 清吉に教えてあげてね。

せいきち
清吉へ

A large rectangular writing area with a green border and horizontal dashed lines for writing.

うみ
海ごみをへらすアイデア

Two horizontal lines for writing ideas.

じぶん
自分がこれからやってみようとおも 思うこと

Two horizontal lines for writing thoughts.



日づけ 年 月 日 () なまえ より

余白

海岸漂着物環境学習プログラム（小学生中学年以上対象）シナリオ例

準備				
パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ	留意点
準備	—	グループ分け、机の配置	●4～6名程度のグループを作り、グループごとに机をくっつけておく。	
導入ストーリー（7分）				
パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ	留意点
導入	1分	指導員の説明を聞く。	●プログラムの趣旨、全体の流れを説明する。 ・愛知県の海岸にたくさんのごみが流れ着いている現状と、その原因・対策について、動画、カードゲームを使って学びます。	
上映	6分	導入ストーリーを視聴する。	●導入ストーリーを視聴させる。	
カードめくりゲーム（23分）				
パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ	留意点
ゲーム説明	3分	準備。 ↓ 指導者の説明をきく。	●グループにカード一式を配る。 ●カードを伏せてテーブルに広げさせる。 ●ゲームの説明をする。 ①海や海岸にはいろいろなものがある。ヒントを参考に、どんなものがあるか絵合わせゲームをしながら確認してみよう。 ②時間は5分です。あたっても外れても、一回で次の人に交代して下さい。カードを多くとった人が勝ち。 ③カードには、それぞれのものの特徴が書いてあるのでそれも読んでみてください。	
ゲーム	5分	絵合わせゲームをする。	●ゲームをさせる（5分間）。 ●グループごとの優勝者を発表する、拍手	※時間がかかっているグループがあれば、少なくとも一巡するよう、声をかける。 ※5分経ったら、全部終わっていないなくても終了の声掛けをする。（1分前に予告）。残ったカードがあれば表向きにする。
種類分け① （背景ごと）	5分	グループで協力してカードを色別に分ける。	●全員のカードを集め、色別に分けさせる。 ●種明かし「青＝海の恵み、緑＝海ごみ（自然系）黄＝海ごみ（事業系）、赤＝海ごみ（生活系）」 ●海ごみにもいろいろな種類のもの（背景）があることを伝える。 ●それぞれの海ごみがどんな影響をもたらすか、数人指名して読み上げさせる。	※カードは2枚一組で重ねるよう指示。 ※問いかけ、答えさせる。「青色はどんなグループだと思いますか？」 ※「レジ袋はどんな影響がありますか？」

種類分け ② (発生源ごと)	5分	グループで協力してカードを「海にもともとあるもの／海以外からくるもの」に分ける。	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの発生源を考えさせ、分けさせる。「海にもともとあるもの、海以外からやって来るものに分けてみましょう。」 ●指名して答えさせる。「海以外から来るごみは何がありますか」「それはどこから、どのように来ると思いますか？」 ●実は内陸部から来るものも多いことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県のごみは、川を流れてやってくるものが多い。 ・沿岸部の住民だけの問題ではない。 	<p>※海、海以外の両方から発生する場合、2枚のカードを1枚ずつ分けてもよい。</p> <p>※どちらとも考えられるものもあることを考慮。</p>
解説、共有	5分	<p>指導者の解説を聞く。 指導員の問いかけにこたえる。</p> <p>あと片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●海にごみがあるとどんな困ったことが起きるか？ <ul style="list-style-type: none"> ・生き物に絡まって傷つける、間違えて食べてしまう→私たちの食卓にも届く可能性がある（マイクロプラスチックの問題） ・海岸が汚れる、けがをする。 ・潮干狩りや海水浴の邪魔になる。 ・漁業の邪魔になる。 ●海ごみを無くすために、どんなことができるか？ <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨ては絶対にいけない。 ・風に飛ばされないよう注意する。 など ●カードを片付ける。 	<p>※問いかけ、答えさせる。</p> <p>※問いかけ、答えさせる。</p>
振り返り（15分）				
パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ	留意点
記入	10分	ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシート「清吉への手紙」を配る。 ●ワークシートへの記入を促す。 ①プログラムを通して学んだこと、気づいたこと ②海ごみを減らすためのアイデアや自分ができること 	
共有	5分	発表する	<ul style="list-style-type: none"> ●数人に発表させ、共有する。 ●全体のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・手紙に書いたことの実行を促す。 ・学んだことを家族に伝えさせる。 	※発表の時間がない場合は、掲示するなどして共有をはかる。